

研修5日目の朝。透き通る空に、キンと冷えた空気がボストンの街を包んでいます。徐々にこの寒さに慣れてきたのか、登校してくる生徒さんの表情も日に日に和らいで見えます。本日も、まずは文法の授業からスタートしました。クラスによって学ぶ文法は異なりますが、仮定法や関係代名詞など、高校の授業で習う内容がほとんどです。既に学習済みの単元もあるので、先生が説明していることは理解出来ているようですが、「質問に答えることが出来ない。答えは分かるのに、それを英語で説明できない…」と悔しそうに語る生徒さんは少なくありません。しかし、たった数日前までは先生からの問いかけ（単なる挨拶）に返答するのがやっとでした。この短期間で、確実に進歩しています。「自分の課題が見えた。日本に戻ったら、とにかく語彙を増やす！」と、これからの目標を語ってくれる。その姿はとてもたくましく、頼もしく感じます。

授業の合間に、高女生のクラスを担当している **Robert** 先生から嬉しいメッセージを頂きました。「高女生はとても素晴らしい。真面目だしやる気があるし、教えていて気持ちが良い。あの真摯な態度は、他の留学生にも良い影響を及ぼしている。彼女達を連れてきてくれてありがとう！」彼はとても厳しい先生なので、こんなに褒めてくれることは滅多にありません。昨年、一昨年の研修においても、授業を担当してくださっていたベテランの先生です。「高女生は素晴らしい」という感想は、これまで授業を受けてきた先輩達の面影にも重なるのでしよう。きっと来年の研修においても、高女生のクラスを担当することを楽しみにしてくれることと思います。

授業の後は、MITのキャンパスツアーに向かいました。昨日のハーバード大学に続き、ボストンキャンパスツアーの目玉です。理系の生徒さんは、昨日から何となくソワソワしています。どんな事を質問出来るのだろうか、どんな立派なキャンパスなのだろうか。期待に胸が高まります。ツアーをしてくださるのは、MITの大学院で研究をされている吉永氏です。渋谷教育学園幕張高校を卒業後、東京大学工学部化学生命工学科に進学され、その後MITの大学院で **Department of Chemistry** を専攻されました。現在は **Luminescent Solar Concentrator**（小型化したソーラーパネルの研究に）取り組まれています。ツアーは、**Roger Building** から始まりました。自己紹介として、ご自身の経歴、なぜ海外留学をしようと思ったのか、なぜボストンを選んだのかなどなど。気さくに話しかけてくださる姿に、少し緊張気味だった生徒さんの表情も徐々に和らいできました。様々な行事が行われる講堂を通り抜け、次はグレートドームに向かいました。かつて学生がいたずら（ハック）として、ドームの上にパトカーを乗せてしまった話を、タブレットの画像と共にしてくださいました。対岸にボストンのダウンタウンを眺めながら、しばしの写真撮影タイムが始まりました。わずかな時間でしたが、吉永氏の周囲には質問を心待ちにしていた生徒さんが集まります。聞きたいことが止まりません。その後向かったのは、グリーン・ビルディング（ビルの窓を使って巨大なテトリスをしました）メディアラボやスタタセンター、ハックで使われたタクシーを巡り、教室に入って質疑応答が始まりました。吉永氏は日本とアメリカの大学（院）の違いや、限られた時間の中でいかに効率よく勉強をするのか、研究のモチベーションをどう高めているのかなどを教えてくださいました。この研修で最後のキャンパスツアーですから、聞きたいことが次から次へと溢れてきます。ツアー終了の時間を越えても、まだ吉永氏の周りを取り囲むように生徒さんが集まっていました。

MITの後、大急ぎで語学学校に戻りました。高2生が発起人となって提案したミーティングを行う為に急いだのですが、残念ながらタイムアップとなりました。学校の放課時間になってしまった為、本日は家路に着きました。（ミーティングは明日実施する予定です）明日は語学学校の最終日。全員が「留学生ともっと話したい」「もっと仲良くなりたい」という強い気持ちを持っています。こちらが背中を押さなくとも、自分達で考えて、楽しく充実した時間を過ごせることと思います。以上、5日目の報告とさせていただきます

Roger Building



自己紹介



グレートドームの前で



MITの教室で質疑応答



テトリスの説明中



メディアラボでも質問が止まりません



これもハックの一つ、消火栓



研究について教えてくださいました



吉永氏にお礼をつたえます

